2023.11.07　第2回事業検討委員会

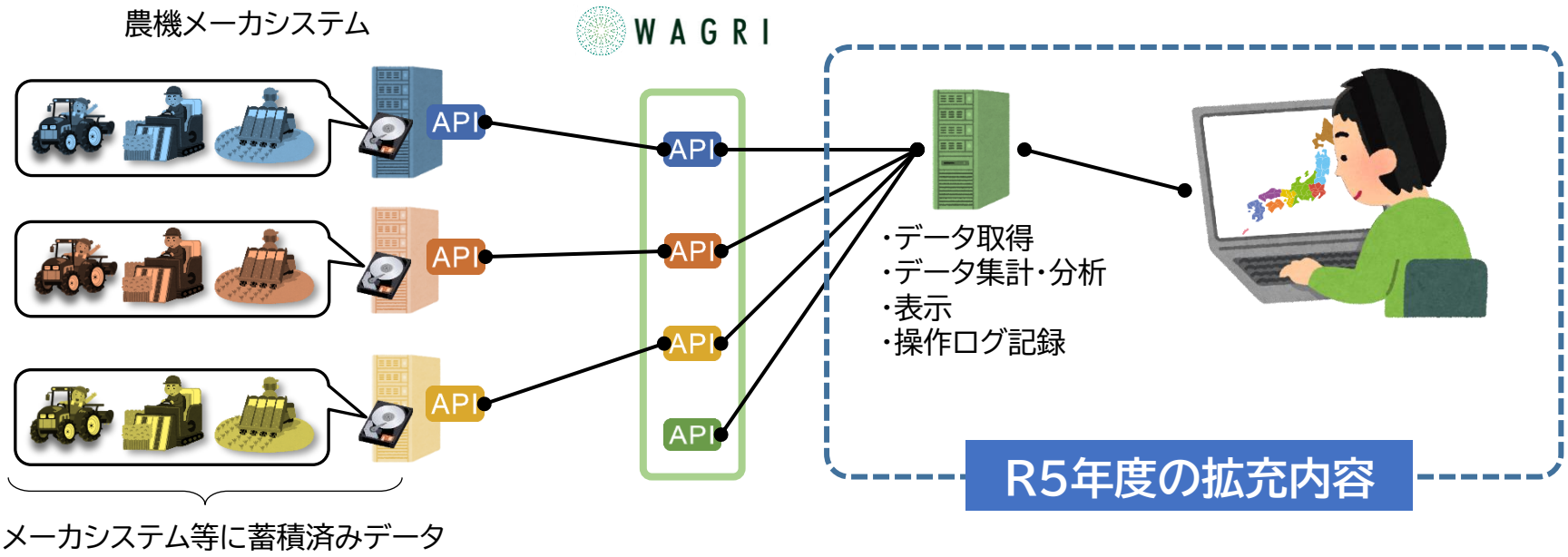
接続検証の準備状況について

農業機械研究部門

（農機API共通化コンソーシアム事務局）

接続検証の目的

- 目的
  農機OpenAPI仕様(標準仕様)の相互接続性の確認
- 実施方法
  R4年度まで
  農研機構が接続相手となり、認証認可、データ取得のプロセスを検証、ユースケースの実現を確認する
  R5年度
  関連事業者によるAPI利用の活性化を図るため、農研機構を含むコンソーシアム構成員間での接続検証・運用確認を実施する



令和5年度の接続検証（候補）

農研機構を接続相手とする取組

WG1

- R5年度の仕様では実施しない
- R4年度の仕様（Ver.1.1.0）でメーカ未実装分の確認を実施予定

WG2

- 穀物検査機器のAPI仕様改定を実施予定。うち、精米データの取り扱いについての検証を予定

WG3（機器間連携実証含む）

- コンソ新規参画の(株)ニッポー、(株)IT工房ZのAPI実装支援を目的に、R4年度の仕様（Ver.2.0.0）での確認を実施中

コンソーシアム構成員間での取組

農機OpenAPI仕様書 ほ場農業機械編（Ver.1.1.0）を利用したソフトウェアの機能開発を通じ、農機OpenAPI利用の活性化を図るとともに、機械データ利用価値の強化（PR含む）、農機OpenAPI仕様の改善等に繋げる。

API提供事業者	**井関農機(株)** **(株)クボタ** **三菱マヒンドラ農機(株)**
API利用事業者	**(株)Agrihub**
事務局	**農研機構**

農研機構を接続相手とする取組

令和5年度の接続検証の内容-1

穀物検査機器編の仕様改定にともない、穀粒判別機（精米）認定規程に基づく結果の表示がAPIで取得したデータから実施できることを確認予定

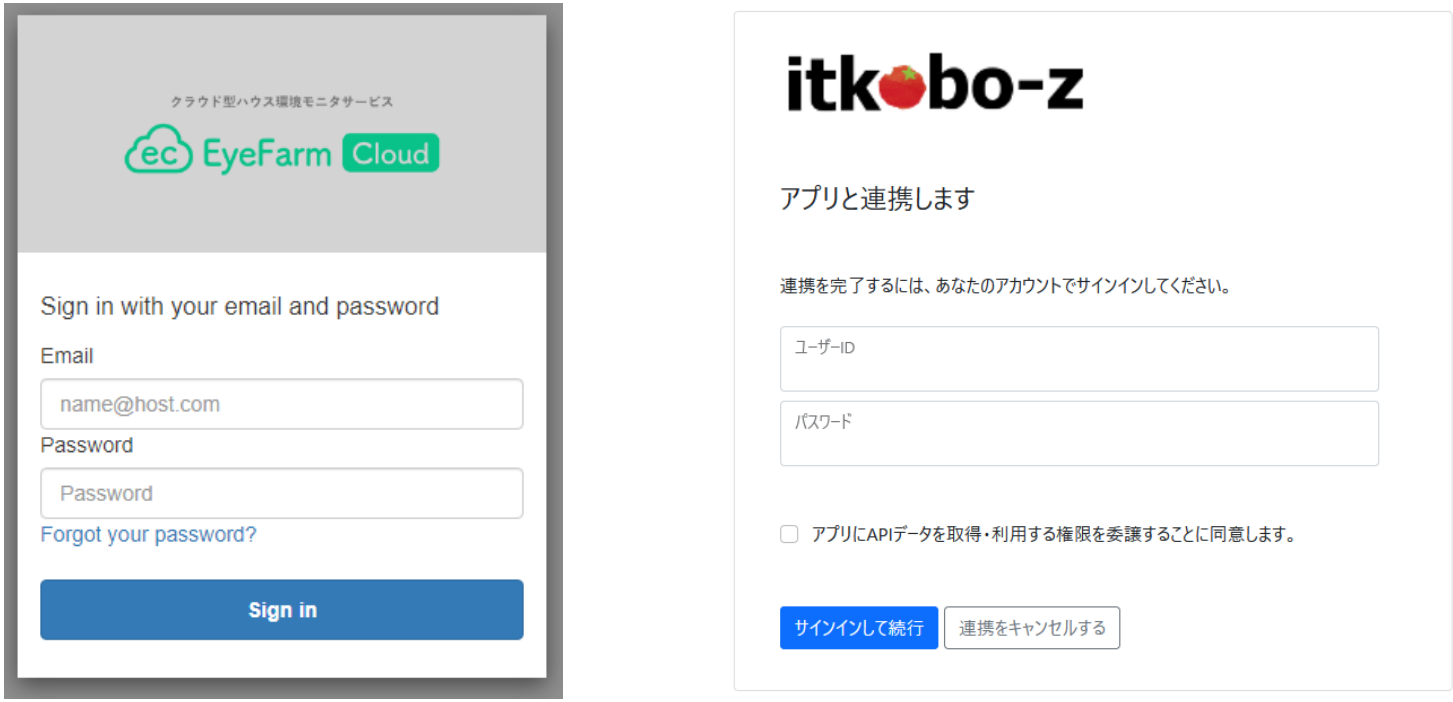
通し番号：00013
計　　測：精米JASモード

計測項目	値	仕様確認
着色粒	0.0 %	●
被害粒	0.2 %	●
砕粒	2.0 %	●
粉状質粒	2.1 %	●
異種穀粒及び異物	0.0 %	

検証画面のイメージ

令和5年度の接続検証の内容-2

令和5年度の機器間連携実証において、施設園芸機器編のAPI実装を行う2社(ニッポー、IT工房Z)の支援のため、認可実装仕様の確認を含めた動作検証を行う



OAuth 2.0 認可画面の設計(例)

コンソーシアム構成員間での取組

（株）Agrihubより説明

API でデータが取得できる確認を完了

井関農機(株)
(株)クボタ
三菱マヒンドラ農機(株)

WAGRI

Agrihub

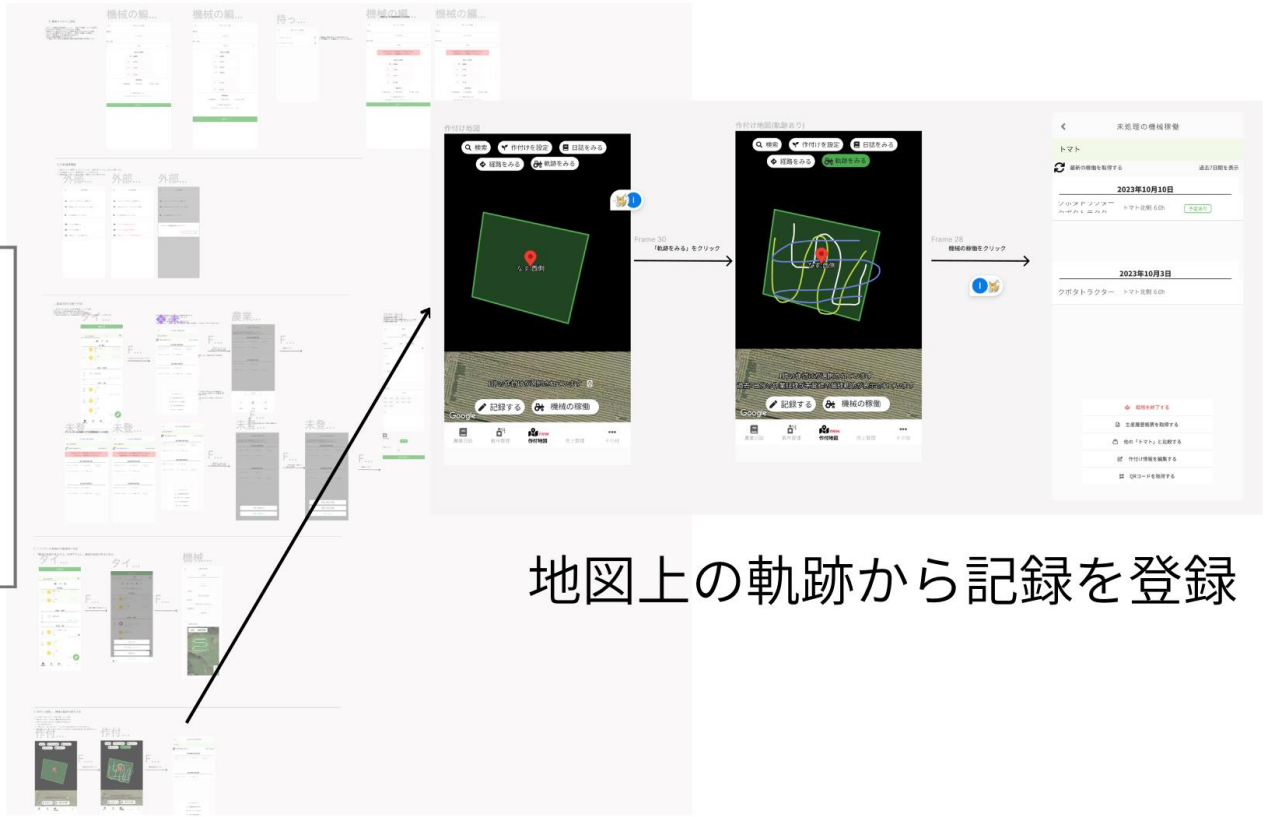
API連携設定

アグリハブの機械と
外部機械の連携設定

実装する各種設計完了

完了

要件定義
画面設計
DB設計
URL設計



地図上の軌跡から記録を登録

画面設計

今後の残タスク - 機能実装

完了　外部連携機能

完了　機械マスターに登録

農業日誌の自動作成

トラクターの軌跡を作業者間で共有

作付け地図に機械の軌跡を表示

3月末までに完了できる計画で実装中

今後の予定・スケジュール

第1回 事業検討委

第2回 事業検討委

第3回 事業検討委

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

農研機構との接続検証

- WG2：仕様協議
- WG3：ニッポー、IT工房ZのAPI実装、接続検証 → 機器間連携実証へ
- 接続検証アプリケーション改良
- 順次、WG1,WG2の接続検証開始

コンソ内での接続検証・運用確認

- API利用契約の締結
- 仕様確認・テスト接続
- 設計・開発・結合試験など